

# 「炭鉄港」の地域づくり

## NPO炭鉱の記憶推進事業団

### 取組みのご紹介

事務局長 北口博美

2019年11月29日（金）

# NPO法人 炭鉱の記憶推進事業団

## 経緯

- 1998年 道空知支庁の「炭鉱の記憶事業」を契機に市民活動が始動
- 2003年 日独交流WS（三笠・美唄）、国際鉱山歴史会議（赤平）
- 2005年 産炭首長による炭鉱遺産サミット（夕張）を開催
- 2007年 夕張市財政破綻を契機にNPO法人化
- 2009年 そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター（岩見沢）を開設
- 2010年 空知・小樽・室蘭を結ぶ「炭鉄港」キャンペーンを開始
- 2013年 産業観光・教育旅行の開発に着手
- 2016年 空知振興局からの委託で炭鉄港ストーリーを取りまとめる
- 2018年 夕張市石炭博物館の指定管理、赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設の一部業務を委託
- 2019年 「炭鉄港」が日本遺産に認定

←ここから

## 目的

- 足もとに残る地域固有の資源「炭鉱の記憶」を手がかりに地域を元気にする



【地域住民】 誇り・自信を持って自らの人生を語り始める

【北海道民】 空知産炭地域が必修科目（近代）として認識される

【日本国民】 「すでに起きた未来」を鏡に自分の地域・人生を自省する

## 【見方が変わったきっかけ】

- 決めつけしないで、違う角度から見る
- 多くのひとから体験談、まちの歴史を直接聞く
- 自分が案内する事で知る
- 他のまちの産業遺産や歴史的建造物を見て産業観光に興味を持つ

自分のまちの凄さに次々気づかされる

好奇心がさらに高まっていく

## 【周囲が変化】

- 自然と、応援してくれるひとが増えてくる
- 今まで全く興味のなかったひとも訪ねてくる
- 行政、旅行会社、メディア、地元の学校からなどの依頼がさらに増える

## 【海外からも反応が】

- 韓国、平昌（炭鉱地域）からの視察団。ベルギー、中国、フランスなどから日本に留学している研究者や学生。知的旅行心の強い個人型
- NHKワールドJAPAN、キャセイパシフィック航空の機内ビデオ

空知地域固有の資源と認められた

## 1.地域情報の提供



## 2.石蔵ギャラリーでの展示・催事



## 3.教育機関などの講座や授業協力



## 4.地域活動の展開



## 5. ツアーの開催や各種手配



## 6. 外に飛び出すPR活動



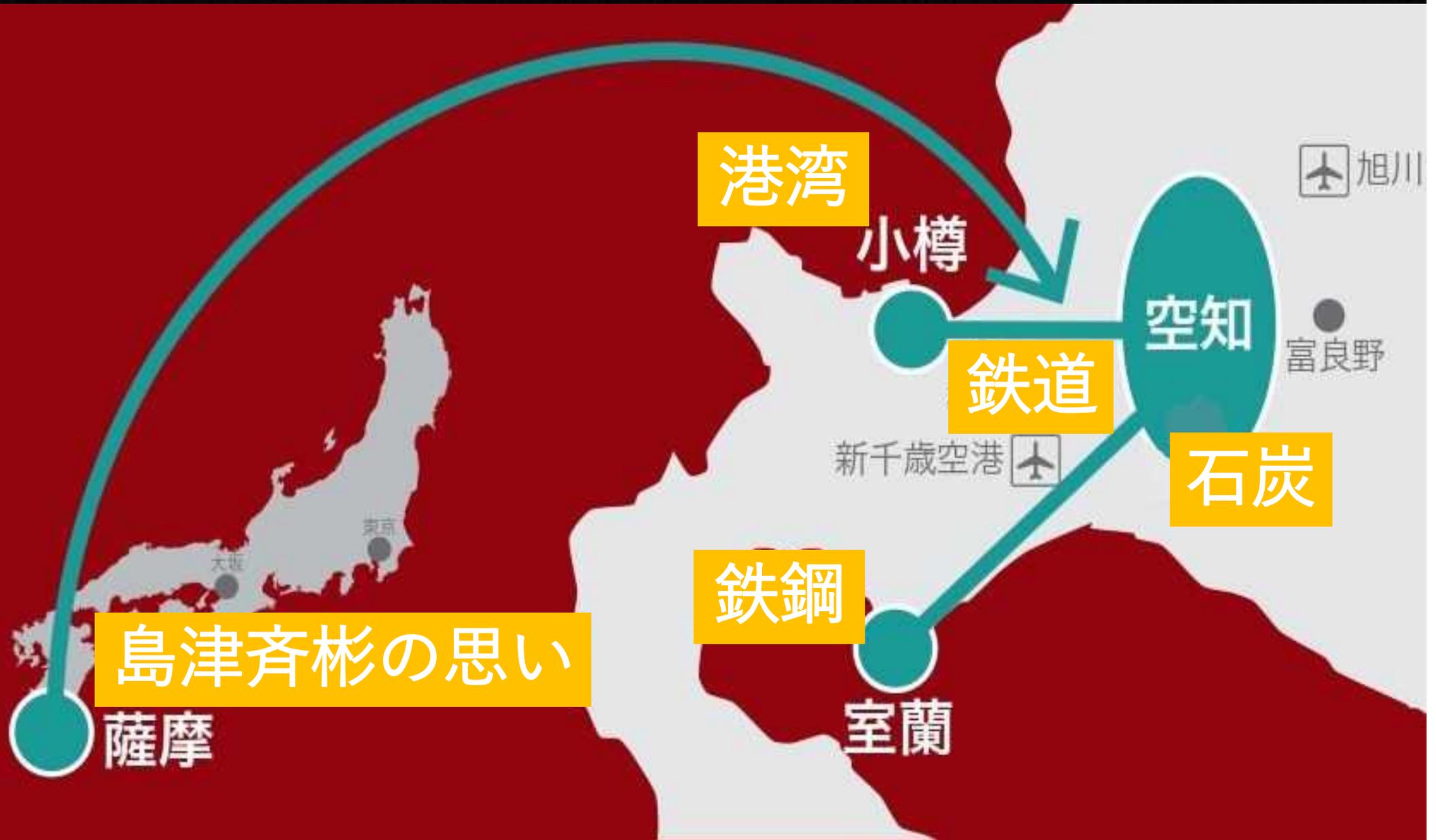
## 7. 小樽・室蘭・空知で連携した取組



様々な事を知り、  
方法を考え実施し、  
思いを持って。

# 北の産業革命「炭鉄港」

～本邦国策を現地に観よ～



# 炭鉱施設や炭鉱まち歩き



# 施設の公開





# 施設の活用









小樽市 第3棟  
中央市場

おたる  
中央市場

日本建築協会  
登録No.VI 特別賞  
1007年11月  
15日

税  
日本建築協会  
炭鉄港  
当中央市場は  
構造文化財に  
認定されました!!  
11年度

15日  
16日  
中央市場  
大祭

火曜 金曜  
抽選会  
貸店舗  
10:00-18:00 開催

中央市場

中央市場

漬物 製造卸 小売  
日限会社 大高商店  
中央売店  
中央店 03-5651

生薬									
生薬									
生薬									
生薬									
生薬									
生薬									
生薬									
生薬									
生薬									
生薬									



醤油





**ガンクイス**  
 このガンクイスは、女性のがつく  
 ガンクイスの重さは約5kgです。  
 実際に持って下さい。



答え：1〇.5kg

花箱方法  
 花箱箱 3機に投函 箱にある花箱用紙  
 に答えと必要事項をご記入の上投函し  
 てください。

※本展覧会では、花箱箱の重さは約5kgです。実際に持って下さい。  
 ※花箱箱の重さは約5kgです。実際に持って下さい。  
 ※花箱箱の重さは約5kgです。実際に持って下さい。  
 ※花箱箱の重さは約5kgです。実際に持って下さい。



**祝**  
**日本遺産認定**  
**炭 鉄 港**  
 当中央市場は  
 構成文化財に  
 認定されました!!



日本遺産



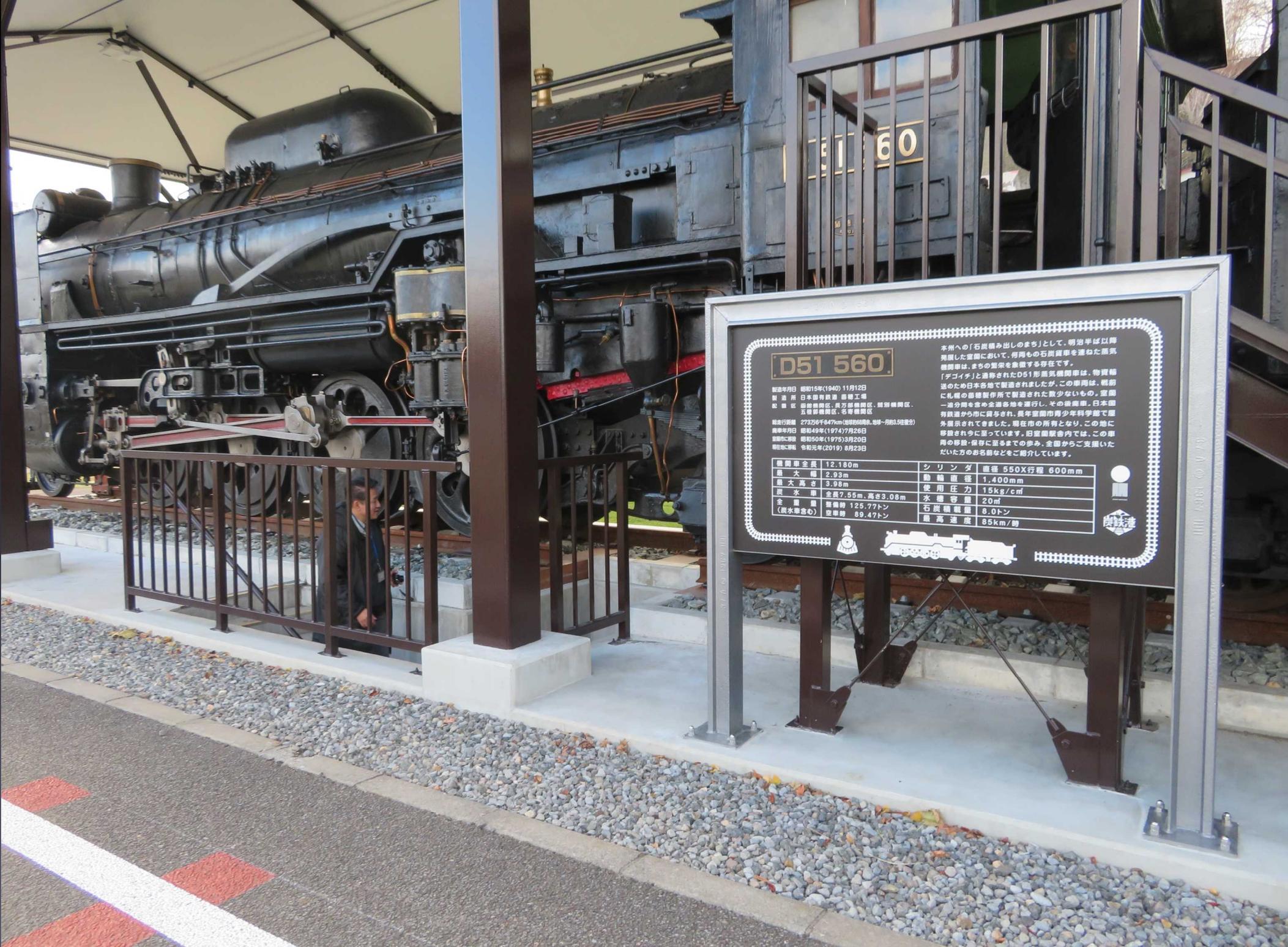


**CANDLE  
SHOP &  
MUSEUM**

Informational sign on a white post.

A person standing on the sidewalk in front of the building.

A silver car and a white van parked on the street.



## D51 560

製造年月日 昭和15年(1940) 11月12日  
 製造所 日本国有鉄道 豊橋工場  
 配属区 田原機関区、西万部機関区、新羽機関区、  
 五權新機関区、名古屋機関区  
 総走行距離 27万56千67km(毎時約60km、毎月約3.5万km)  
 廃止年月日 昭和49年(1974)7月26日  
 廃止区間 徳島50km(1973)3月20日  
 現在地 豊橋 令和元年(2019) 8月23日

本州への「石炭積み出しのまち」として、明治半ば以降  
 発展した室蘭において、何れも石炭貨車を運ぶた蒸気  
 機関車は、まちの歴史を象徴する存在です。  
 「デゴイチ」と通称されたD51形蒸気機関車は、物資輸  
 送のため日本各地で製造されましたが、この車両は、戦前  
 に札幌の原形製作所で製造された数少ないもの。室蘭  
 一泊分間を含め全道各地を運行し、その後南端。日本国  
 有鉄道から市に譲与され、長年室蘭市青少年科学館で屋  
 外展示されてきました。現在市の所有となり、この地に  
 移設され今に至っています。旧室蘭駅舎内では、この車  
 両の移設・保存に至るまでの歩み、全道からご支援し  
 いただいた方のお名前などをご紹介します。

機関車全長	12.180m	シリンダ	直径 550X行程 600mm
最大幅	2.93m	動輪直径	1,400mm
最大高さ	3.98m	使用圧力	15kg/cm <sup>2</sup>
排水管	全長7.55m、高さ3.08m	水筒容量	20m <sup>3</sup>
全重量	整備時 125.77トン	石炭積載量	8.0トン
(排水管含む)	空車時 89.47トン	最高速度	85km/時





## 【今後は…】

- 今あるものをベストな手段で光らせる
- 観光重視の開発をしてせっかくの景観を壊したり、変に手を加えて本来の持つ良さを損なわないようにする
- 周辺地域や団体と連携して、それぞれの特性を活かしたものを組み合わせ、様々な観光資源を魅せる（炭鉄港と繋がるのは、インフラツアラーやシーニックバイウェイなど）
- 新千歳空港や札幌から近いという位置関係を利用する
- 「北海道の空知に行きたい」を思ってくれるファンを増やし、そこからの繋がりを大切にする

# 炭鉄港は、SIT (Special Interest Tour) !

(趣味やテーマ性が高い、特別な目的に絞った旅行)



「炭鉱の記憶」「炭鉄港」は、  
地域固有の財産であり、  
まちのルーツだから！！